

## 2-2 計画テーマの設定と基本方針

### 1) 計画テーマの設定

前項までに述べた鎌倉市の緑の特性・課題や上位計画での今後の都市整備の方向等から、本計画では次のような計画テーマを設定する。

#### ●鎌倉市の緑の課題

- ・鎌倉市のもつ優れた自然的、歴史的環境の保全・継承が必要
- ・予測される地震災害等に備えた緑・オープンスペースの体系的な保全・整備が必要
- ・都市の成熟化に対応した憩いの場や活動の場づくりが必要
- ・豊かな緑と多様性に富んだ特色ある都市景観の維持・育成が必要等

#### ●鎌倉市の緑の特性

- ・首都圏における広域的な拠点緑地
- ・古都の歴史的風土を構成する緑
- ・市民生活との結びついた身近な緑
- ・多面性に富んだ緑
- ・都市生態系を構成する山・谷戸・川・海の自然を一体的にもつ緑
- ・民有地が支える緑

#### ●鎌倉市の将来目標

- ・人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち
  - ・歴史を継承し、文化を創造すまち
  - ・都市環境を保全・創造すまち
  - ・健やかで心豊かに暮らせるまち
  - ・安全で快適な生活がおくれるまち
  - ・活力ある暮らしやすいまち
- (第3次鎌倉市総合計画基本構想)

#### ●環境自治体鎌倉の創造

- ・環境の恵みを将来世代に継承します
  - ・環境への負荷の少ない持続的に発展できる社会を築きます
  - ・自然環境や歴史的遺産など鎌倉の個性を尊重し共生していきます
  - ・鎌倉から地球環境保全を進めます
- (鎌倉市環境基本計画の基本方針)

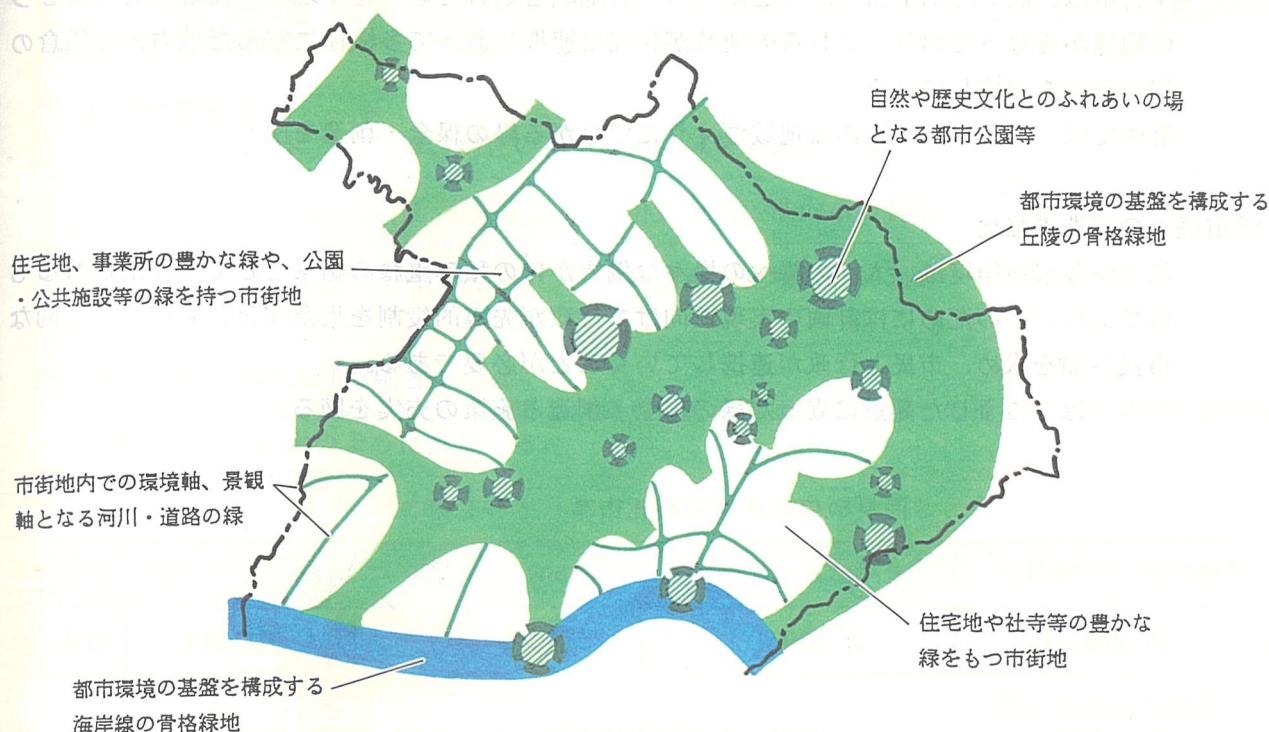
#### ●鎌倉市の都市整備の方向

- ・緑や地形を生かした古都のまち並みのある都市
  - ・環境負荷の少ない都市
  - ・安全に住み続けられる都市
  - ・人と環境にやさしい交通の都市
  - ・鎌倉ならではの生業のある都市
- 〔平成6年度鎌倉市都市マスタープラン策定調査報告書におけるまちづくりのテーマ〕

#### ●緑の基本計画のテーマ

- ①自然共生型・低負荷型の都市環境の形成
- ②古都の歴史的風土の保全・継承
- ③自然・歴史とまち並みが融和した都市景観の形成
- ④緑を基盤とした安全性の高い都市空間の形成
- ⑤多様なレクリエーション活動の場を備えた都市空間の形成

図 2 - 1 緑の将来像



## 2) 計画の基本方針

計画の基本理念及び計画テーマを踏まえつつ、次のような基本方針を定める。

### ①都市の固有性（鎌倉らしさ）を活かす緑の保全・創造

鎌倉市は「古都」、「豊かな緑に包まれた住宅都市」、「海浜レクリエーション都市」、「国際観光文化都市」等の様々な性格をもつ都市であり、これらの性格と結びついた緑が鎌倉らしさを特色づける資源となっている。

計画では、こうした鎌倉の固有性（らしさ）と結びついた緑の保全・創造を図る。

### ②山・海の豊かな自然や歴史的資源を活かした都市環境の質の向上につながる緑の保全・創造

鎌倉市は山・海の自然環境や歴史的遺産と結びついた豊かな緑をもつが、これらの緑については単に資源として存在するだけでなく、土地利用と調和する形で、自然との共生や環境負荷の低減、歴史的風土の継承、安全性の向上などに、より有効に機能していくことが必要である。

計画では、こうした都市環境の質の向上につながる緑の保全・創造を図る。

### ③都市の活力を高める緑の整備

人口の減少や高齢化・長寿化が進むと予測される鎌倉市においては、現在の豊かな緑と調和した質の高い都市環境を維持する一方で、都市の活性化や定住の促進などにも積極的に対応していく必要がある。

計画では、こうした観点から人々の交流を促進し、都市の活力を高める緑の整備・充実を図る。

④地域の特性を活かす緑の保全・創造

鎌倉市は、歴史的風土保存区域を擁する鎌倉地域とそれを取り巻く地域の性格の異なる2つの地域からなっており、これらの地域が相互に連携しあって多様性に富んだ魅力ある鎌倉の都市環境を形成している。

計画では、こうした個性ある地域づくりにつながる緑の保全・創造を図る。

⑤市民との連携の強化

緑豊かな都市環境は、人々の緑への様々な働きかけの積み重ねの結果として生み出されるものであり、このためには計画の実現に向けて行政が先導的役割を果たすとともに、積極的な市民参加を求め、市民と行政が連携していくことが必要である。

計画では、こうした観点に立った緑の保全・創造と施策の充実を図る。